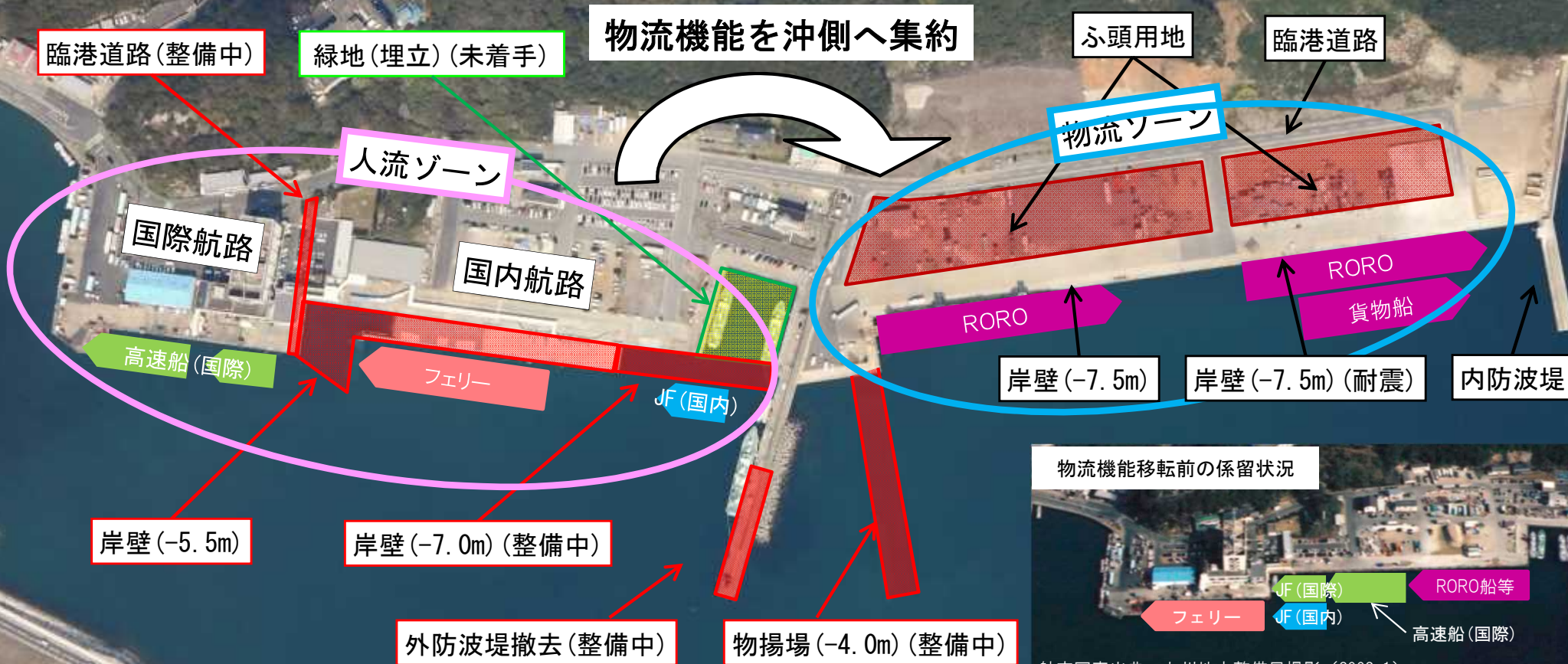


# 【厳原港】離島ターミナル整備事業の概要

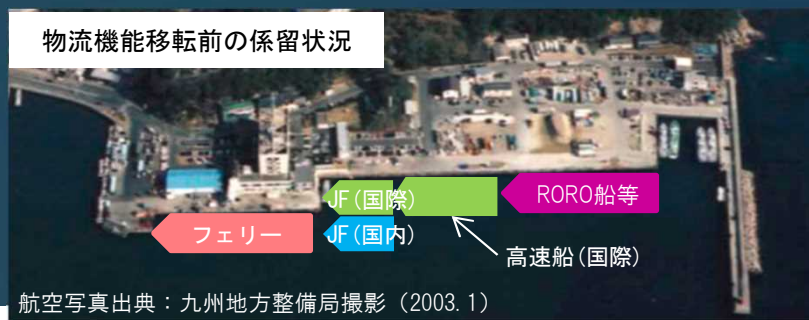
- 厳原港は、ジェットfoil、高速船、フェリー、RORO船等が就航しており、対馬島民の生活を支えるとともに、韓国との交流が盛んな国境離島対馬の重要な物流・人流拠点。
- しかし、既存のターミナルは、物流・人流が混在する非効率な運用となっている状況。
- このため、物流機能と人流機能を分離し、荷役の効率化、乗降客の安全性・利便性の向上を図ることを目的としてターミナルを再編。また、大規模地震時における物資輸送等の確保のための耐震強化岸壁を整備。
- 整備状況
  - (物流ゾーン) 2003年度に現地着工。岸壁(水深7.5m)2バースが完成し、2010年度から物流機能を移転。
  - (人流ゾーン) 2013年度に現地着工。現在、既存防波堤の撤去及び臨港道路等を整備中。

2017. 3現在

## 物流機能を沖側へ集約



## 物流機能移転前の係留状況



航空写真出典：九州地方整備局撮影（2003. 1）